

2025年度第2回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1. 開催日時：2026年1月30日（金）10:00～12:00

2. 場 所：東海大学伊勢原キャンパス1号館2階 第1会議室

3. 出席者：

【監査委員】長谷川 委員長、内嶋 委員、山口 委員、石井 委員、安田 委員、鈴木 委員

【病 院 側】渡辺 病院長、小川 副院長/医療安全管理責任者、森 副院長/看護部長、
守田 医療監査部長、鈴木 薬剤部長、
梅澤 医療監査部次長/医療安全専従医師、
水元 医療監査部次長/医療安全対策課長/専従医療安全管理者、
本村 医療機器安全管理室長/医療機器安全管理責任者、
林 医薬品安全管理室長/医薬品安全管理責任者、
堤 医療安全対策課/専従医療安全管理者、橋本 医療安全対策課/専従看護師、
羽村 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
鈴木 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
川添 医療機器安全管理室/医療安全専任技師、
笠原 医療放射線安全管理室/専従診療放射線技師、
萩野 病院運営企画室次長/事務課（経営企画）課長）、
笠原 病院運営企画室/事務課（総務）課長、栗木 医療安全調査課長、
石坂・飯塚・須田 医療安全対策課/事務局

4. 配布資料：1) 監査委員会次第 2) 医療安全管理業務の実施状況

5. 監査概要

1) 出席者紹介

2) 監査委員会の成立

監査委員会規程第5条第3項により、委員の3分の2以上の出席をもって成立した。

3) 医療安全管理業務の実施状況について

- ①医師のレポート提出状況、画像レポート・病理報告の未読への対応、医療事故調査制度に該当する事例、高難度新規医療技術の申請状況、Safety-IIに関する取り組みについて報告。
- ②2025年度上半期インシデント/アクシデントレポート分析、2024年度下半期レポート・事例検討による安全対策の評価、2025年度上半期レポート・事例検討による安全対策について報告。
- ③薬剤関連のインシデントレポート、レポート事例検討と安全対策の評価（2024年度下半期）、レポート事例検討と安全対策（2025年度上半期）、外来処方疑義照会事例、未承認薬・適応外使用薬の使用について報告。
- ④医療機器に関するEMI報告（2024年度下半期・2025年度上半期レポート数）、2024年度下半期レポート事例の対策と評価、2025年度上半期レポート事例の対策、医療機器安全管理室の取り組み、生体情報モニタに関する継続報告事項、未承認新規医薬品等申請について、その他課題事項について報告。

6. 監査結果

1) トラブルの原因究明と対策だけでなく、その対策が実際に有効だったかを追跡している点が非常に有用だと感じた。安全対策を最後まで確実に追いかける姿勢は、私自身が関わるリスク管理の場面でも非常に参考になった。

一方、医療事故調査制度に関しては、事象発生時の詳細報告はいただいているものの、その後の議論の結果や最終的な結論が不明である。特に外部委員が入る医療事故調査制度院内調査委員会では客観的な判断が得られるため、医療従事者側の責任の有無に関わらず、最終的な結論や対応方針についても報告いただきたい。

2) インシデントレポート対策を含め、毎年継続的に前向きに取り組まれていることがよく分かった。

一方で、大きな組織では医療安全の意識を一職員まで浸透させることが難しい面もあるため、医療安全に関わる職員を増やし、意識を共有できる体制づくりが重要だと感じている。セーフティマネージャーにサブを配置して、医療安全に関わる人数を増やす取り組みをしている施設もあると聞いている。このようなことも参考にさせていただくとよいと思う。

また、医療者にとっての当たり前は、必ずしも患者にとっての当たり前ではない。そのため、なぜ行うのか、何のための対応なのかを丁寧に説明することで、患者の理解と納得につながると思う。この点についても、今後ぜひ進めていただきたい。

- 3) 行政の立場から、市民が安心して医療サービスを受けられるよう様々な対策を協議、検討されていることに感謝申し上げます。今後も市民のために更なる医療安全確保に取り組んでいただきたいと思う。
- 4) 医薬品や医療機器への取り組みは、この10年で組織が大きく拡大しており、それだけ医療が複雑化している。引き続き、医療監査部を司令塔として、医療の複雑さに応じた組織の充実化を進めていただきたい。
- 5) 医師のレポート件数が減少しているとの報告があったが、最初の意識付けが重要であるため、引き続きお願いする。また、抗血栓薬の再開については、しっかりと対応されており、八王子病院でも活用させていただきたいと思う。

7. 総 評

東海大学医学部附属病院は、医療安全に力を入れており、特に Safety- I に関する取り組みについて、対応策を実施したうえで、その後のフォローまで確実にやっている点は、医療安全を高く意識していることと認識している。また、今年度の医療安全目標に「心理的安全性の確保」や「Safety- II の推進」を取り入れていただいていることも評価する。

最後に4点についてお願いしたい。1つ目は、医療安全の推進と病院経営、教職員の働き方改革は状況によってはコンフリクトが生じるため、適切にバランスを取りながら進めていただきたい。2つ目は、Safety- II については既に取り組みが進んでおり、大変心強く感じている。次回はその成果をぜひ共有いただきたい。また、Safety- II を成立させるにはパワハラ対策が不可欠であり、これも医療安全の一環として捉えていただきたい。加えて、組織全体でレジリエンスを高める取り組みを進めていただきたい。3つ目は、リチウムイオン電池への取り組みについて、病院として最低限行うべきことは、転倒などで衝撃を受けた機器は必ず臨床工学技士に相談して確認すること、そしてスマートフォンについて、教職員や患者に対し「許可していない場所での充電禁止」や「発火リスク」などをデジタルサイネージ等で啓発することである。これらは費用をかけずに実施できるため、ぜひ進めていただきたい。4つ目は、被ばく対策など放射線に関する安全管理対策に関して、次回報告いただきたい。

8. そ の 他

- 1) 2026年度第1回東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目について
 - ・課題、意見等があればメールにて、事務局まで連絡をお願いしたい。
- 2) 第1回の開催日
 - ・2026年9月～10月に開催予定。

以 上